

多職種による包括的な転倒、骨折・骨粗鬆症、サルコペニア予防に関するシンポジウム

2016年

10月23日(日)

東京医科歯科大学鈴木章夫記念講堂

東京都文京区湯島1-5-45

Tel: 03-3813-6111 (代)

事前申し込み不要、参加費無料

12:00-12:50 ランチョンセミナー 医学科: 講義室1 (3号館2階)

(協賛 第一三共株式会社)

我が国における大腿骨近位部骨折の現状と予防戦略

演者 鳥取大学医学部保健学科教授 萩野浩

座長 藤田保健衛生大学教授 鈴木敦詞

13:00-17:00

多職種による包括的な転倒、骨折・骨粗鬆症、サルコペニア予防に関するシンポジウム

(東京医科歯科大学鈴木章夫記念講堂)

開会の辞 国立長寿医療研究センター病院長 原田敦

基調講演 厚生労働省老健局老人保健課 課長補佐 井口 豪 (20分)

ミニレクチャー

超高齢社会における筋骨格系疾患への多職種連携の必要性 (日本老年医学会)

東京大学医学部老年病科 小川純人 (15分)

シンポジウム (各25分)

座長: 大阪大学医学部教授 楽木宏実

近畿大学医学部奈良病院教授 宗圓 聡

- 1) フレイルとサルコペニア対策と多職種連携
国立長寿医療研究センター
荒井秀典 (日本サルコペニア・フレイル研究会)

- 2) ロコモティブシンドローム誕生から現在
NTT東日本関東病院
大江隆史 (日本整形外科学会)

- 3) 転倒予防の教育・社会啓発活動
日本体育大学日体大総合研究所
武藤芳照 (日本転倒予防学会)

- 4) 高齢者のフレイルとリハビリテーション
国立長寿医療研究センター
近藤和泉 (日本リハビリテーション医学会)

- 5) 骨粗鬆症リエゾンサービスと骨粗鬆症マネージャー制度について
藤田保健衛生大学
鈴木敦詞 (骨粗鬆症学会)

- 6) 骨粗鬆症診療における多職種連携と医療経済評価
—骨折リエゾンサービスの費用効果分析—
神戸薬科大学医療統計学
森脇健介

パネルディスカッション (45分)

～健康寿命延伸にむけた多職種による包括的取り組みはどうあるべきか～

座長: 藤田保健衛生大学内分泌代謝内科学教授 鈴木敦詞

国立長寿医療研究センター副院長 荒井秀典

パネリスト: 小川純人、大江隆史、武藤芳照、近藤和泉

主催: 国立研究開発法人国立長寿医療研究センター

共催: 日本骨粗鬆症学会、日本サルコペニア・フレイル研究会、日本整形外科学会

日本転倒予防学会、日本リハビリテーション医学会、日本老年医学会

事務局: 国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 荒井秀典

愛知県大府市森岡町7-430 電話 0562-46-2311 (代)

多職種による包括的な転倒、骨折・骨粗鬆症、サルコペニア予防に関するシンポジウム

2016年

10月23日(日)

東京医科歯科大学鈴木章夫記念講堂

東京都文京区湯島1-5-45

Tel : 03-3813-6111 (代)

鈴木章夫記念講堂

3号館2階講義室1
(ランチョンセミナー)



骨粗鬆症マネージャー（3単位）および日本骨粗鬆症学会認定医（5単位）取得が可能です。他の学会については、各学会事務局にお問い合わせください。

主催: 国立研究開発法人国立長寿医療研究センター

共催: 日本骨粗鬆症学会、日本サルコペニア・フレイル研究会、日本整形外科学会
日本転倒予防学会、日本リハビリテーション医学会、日本老年医学会

事務局: 国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 荒井秀典

愛知県大府市森岡町7-430 電話 0562-46-2311 (代)